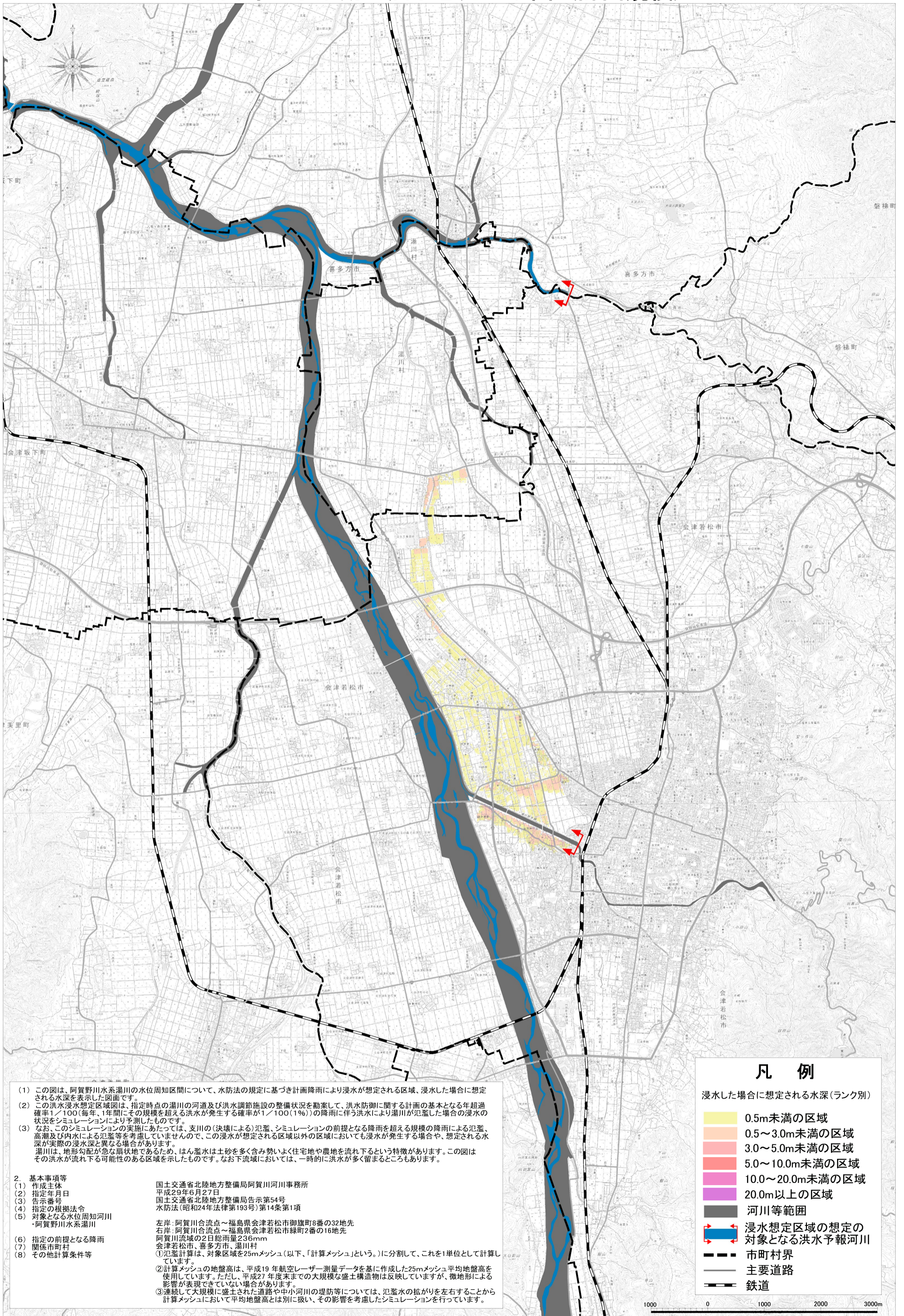


阿賀野川水系湯川浸水想定区域図（計画規模）



(1) この図は、阿賀野川水系湯川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の湯川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により湯川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。湯川は、地形勾配が急な扇状地であるため、はん濫水は土砂を多く含み勢よく住宅地や農地を流れ下るといった特徴があります。この図はその洪水が流れ下る可能性のある区域を示したものです。なお下流域においては、一時的に洪水が多く留まる場所もあります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体
国土交通省北陸地方整備局阿賀川河川事務所
平成29年6月27日

(2) 指定年月日
国土交通省北陸地方整備局告示第54号

(3) 告示番号
水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項

(4) 指定の根拠法令
左岸:阿賀川合流点~福島県会津若松市御旗町8番の32地先
右岸:阿賀川合流点~福島県会津若松市緑町2番の16地先

(5) 対象となる水位周知河川
阿賀野川水系湯川
阿賀川流域の2日総雨量236mm
会津若松市、喜多方市、湯川村

(6) 指定の前提となる降雨
①氾濫計算は、対象区域を25mメッシュ(以下、「計算メッシュ」という。)に分割して、これを1単位として計算しています。

(7) 関係市町村
②計算メッシュの地盤高は、平成19年航空レーザー測量データを基に作成した25mメッシュ平均地盤高を使用しています。ただし、平成27年度末までの大規模な盛土構造物は反映していませんが、微地形による影響が表現できていない場合があります。

(8) その他計算条件等
③連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水の揺がりを左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 10.0~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の想定の対象となる洪水予報河川
- 市町村界
- 主要道路
- 鉄道